# レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

| | | | |
|---|---|---|---|
| レビュー項目（事業名） | 新規就農者等の初期投資支援策の適正化（農業施設貸与事業・経営発展支援事業） | 部（局） | 農林水産部 |
| | | 所管課 | 農業経営課 |
| | | 担当班 | 担い手対策班 |
| | | 連絡先 | 078-362-3406 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 開始年度 | H27 | 終了年度 | － | 関連計画等 | ひょうご農林水産ビジョン2035 |
| 事業区分 | ☑ 国補助事業 | ☑ 県単独事業 | | | |
| 実施方法 | □ 直執行 | □ 委託 | ☑ 補助 | □ その他（　　） | 実施主体等：JA・市町等 |

**事業目的**

新規就農者等の初期投資負担の軽減や経営発展の取組を支援することにより、円滑な就農と地域への定着を促進するとともに、雇用創出及び担い手の確保を図る。

**事業概要**

| 事業名 | 農業施設貸与事業（H27～） | 経営発展支援事業（R4～） |
|---|---|---|
| 概要 | 新規就農者の初期投資負担軽減による円滑就農等に向けた施設貸与 | 新規就農者に対する経営発展のための機械・施設等の導入費補助 |
| 対象施設等 | 園芸施設及び付帯設備、農業用機械 | 機械・施設の導入、家畜の導入、果樹・茶の新植・改植、機械等リース |
| 対象者等 | 認定新規就農者(※1)等<br>※1　経営開始1～5年目で49歳以下 | 認定新規就農者(※2)<br>※2　経営開始1～2年目で49歳以下 |
| 補助率 | 1/2以内 | 3/4以内 |
| 補助上限 | 25,000千円（事業費上限：50,000千円）<br>※経営開始2年目までの認定新規就農者の場合、下限事業費が15,000千円 | 7,500千円（事業費上限：10,000千円） |

**業務フロー**

【施設貸与】①計画申請（実施主体）→②計画承認（県）→③交付申請（実施主体）・交付決定（県）→④事業着手（実施主体）→⑤実績報告（実施主体）→⑥補助金交付（県）
【経営発展】①計画申請（県）→②計画承認（国）→③計画申請（市町）→④計画承認（県）→⑤交付申請（市町）・交付決定（県）→⑥事業着手（市町）→⑦実績報告（市町）→⑧補助金交付（県）

**R5レビュー時の外部委員会意見**

・いかに農業を継続させるかが重要である。農業施設貸与事業を利用した新規就農者で農業を継続している人の割合をアウトカム指標とし、100%を目指すこととしてはどうか。
・農業施設貸与事業を利用した農業者が安定的に農業経営出来ているのかをモニタリングすべき。事業利用者がどれだけ所得を得られているのかをアウトカム指標として入れてはどうか。
・また、モニタリングの結果、成功している事例は横展開すべき。
・農業施設貸与事業と国費の経営発展支援事業の棲み分けについて、重複部分を残す場合でも、あえて残すなど戦略的な制度設計をされたい。

**改善結果**（改善状況取組過程）

国事業の経営発展支援事業については、要件変更ができないため、県事業の農業施設貸与事業について以下の改善を図った。
（１）一定以上の研修・実務経験・農業所得実績のある者の採択優先順位を上げることで、定着率向上。
（２）事業実施状況報告時に所得状況の報告を求め、それをモニタリングすることで、事業効果を把握。
（３）より多くの方に事業を活用してもらい、モニタリングすることで優良事例を生みだすとともに、それを横展開するため、同一農業者による複数回申請に制限をかける。
（４）就農計画に基づき、初期投資が比較的小規模となる新規就農者は経営発展支援事業を活用する一方で、都市近郊の立地を生かした施設園芸分野などの大規模な施設整備を伴う経営で地域のリーダー的担い手を目指す新規就農者は農業施設貸与事業を活用できるよう棲み分けを実施している。
なお、事業利用者の所得については、事業計画時から５年後を目標に設定しており、単年度で評価することは困難であることからアウトカム指標としては設定しない。

**事業に要するコスト**

| 区分 | | | ５年度決算額 | ６年度決算額 | ７年度当初予算額 | ８年度当初予算額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費① | | | 409,427 千円 | 291,928 千円 | 442,967 千円 | 417,210 千円 |
| | 経費内訳 | 報酬・賃金 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | 委託料 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | 補助金・交付金 | 409,427 千円 | 290,928 千円 | 442,106 千円 | 416,345 千円 |
| | | 貸付金 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | その他 | 0 千円 | 1,000 千円 | 861 千円 | 865 千円 |
| | （財源内訳） | （国庫） | (365,010千円) | (240,829千円) | (336,333千円) | (251,563千円) |
| | | （特定） | (0千円) | (0千円) | (0千円) | (0千円) |
| | | （起債） | (0千円) | (0千円) | (0千円) | (0千円) |
| | | （一般財源） | (44,427千円) | (51,099千円) | (106,634千円) | (165,647千円) |
| 予算額②<br>※精算補正前の予算を記載 | | | 611,757 千円 | 437,272 千円 | 442,967 千円 | 417,210 千円 |
| 執行率（(①/②)×100） | | | 66.9% | 66.8% | 100.0% | 100.0% |
| 人件費③（a＋b＋c） | | | 従事人員 1.0人<br>8,250 千円 | 従事人員 1.0人<br>8,619 千円 | 従事人員 1.0人<br>8,997 千円 | 従事人員 1.0人<br>9,438 千円 |
| | 職員給与費 | a | 7,156 千円 | 7,389 千円 | 7,903 千円 | 8,208 千円 |
| | 賞与引当金繰入額 | b | 594 千円 | 624 千円 | 594 千円 | 624 千円 |
| | 退職手当引当金繰入額 | c | 500 千円 | 606 千円 | 500 千円 | 606 千円 |
| 総コスト（①＋③） | | | 417,677 千円 | 300,547 千円 | 451,964 千円 | 426,648 千円 |

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　様式３

| | 指標名 | 区　分 | ５年度実績 | ６年度実績 | ７年度見込 | ８年度目標 | 最終目標【年度】 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 評価指標 | 成果指標（アウトカム指標①）<br>新規就農者数（50歳未満） | 目　標 | 300 | 300 | 300 | 300 | |
| | | 実績（見込） | 272 | 282 | 273 | (300) | 【年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | (1,536 千円) | (1,066 千円) | (1,656 千円) | (1,422 千円) | |
| | | 達成率（見込） | 90.7% | 94.0% | 91.0% | (100.0%) | |
| | 成果指標（アウトカム指標②）<br>事業利用者の就農定着率 | 目　標 | 100 | 100 | 100 | 100 | |
| | | 実績（見込） | 100 | 100 | 100 | (100) | 【年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | (4,177 千円) | (3,005 千円) | (4,520 千円) | (4,266 千円) | |
| | | 達成率（見込） | 100.0% | 100.0% | (100.0%) | (100.0%) | |
| | 成果指標（アウトカム指標③） | 目　標 | | | | | |
| | | 実績（見込） | | | | | 【年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | -- | -- | -- | -- | |
| | | 達成率（見込） | -- | -- | -- | -- | |
| | 活動指標（アウトプット指標①）<br>事業を利用した農業者数（人） | 目　標 | 70 | 70 | 70 | 70 | |
| | | 実績（見込） | 63 | 40 | 57 | (45) | 【年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | (6,630 千円) | (7,514 千円) | (7,929 千円) | (9,481 千円) | |
| | | 達成率（見込） | 90.0% | 57.1% | 81.4% | (64.3%) | |
| | 活動指標（アウトプット指標②） | 目　標 | | | | | |
| | | 実績（見込） | | | | | |
| | | （単位当たりコスト） | -- | -- | -- | -- | |
| | | 達成率（見込） | -- | -- | -- | -- | |
| | 活動指標（アウトプット指標③） | 目　標 | | | | | |
| | | 実績（見込） | | | | | 【年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | -- | -- | -- | -- | |
| | | 達成率（見込） | -- | -- | -- | -- | |
| 目標 | 終期設定 | 有（　　）・無（○） | | | | | |
| | 改善基準 | | | | | | |

| 自己評価 | 評価の視点 | 評価 | 目標に対する達成状況（総合的評価） |
|---|---|---|---|
| | ○有効性（評価指標に対する実績）<br>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か<br>・民間での事業実施は見込めない事業か<br>・指標・目標設定は適切か<br>・活動実績は十分か<br>・想定された成果を達成しているか　など | (1)一定以上の研修・実務経験・農業所得実績のある者の採択優先順位を上げることで、利用後の就農定着率の向上を図った。<br>(2)事業実施状況報告時に所得状況の報告を求め、それをモニタリングすることで、事業効果の把握に努めた。 | B：ほぼ満足のいく実施状況<br><br>いずれの事業も、新規就農する際の初期投資への支援であり、新規就農者の確保に寄与している。<br>R7事業利用者のうち11人は農業施設貸与事業を活用した新規就農者であり、地域のリーダー的担い手の育成を図っている。<br>また、事業の活用者の就農定着率が100%となっており、JA・市町を含めた関係機関による伴走支援による効果が大きいと考える。 |
| | ○効率性（最小のコストで最大の効果）<br>・業務改革に取り組んでいるか<br>・コスト削減の工夫を行っているか<br>・ICTや民間活力は活用しているか<br>・受益者負担は適正か<br>・財源確保の工夫は行っているか　など | (1)利用者増につなげるため、HP等で優良事例を掲載し、横展開につなげた。<br>(2)経営発展支援事業と支援が重複する就農1～2年目の者については、農業施設貸与事業に下限事業費（15,000千円）を設けることで棲み分けを行った。 | |
| 評価 | 課題・今後の方向性<br>□ 改善　□ 他事業と統合　☑ その他<br>説明：新規就農者の確保及び定着に寄与しており、引き続き支援を実施するとともに、安定的な農業経営の継続を確認するためにモニタリングを実施する。 | | |

**外部委員会意見**

・R5レビューで指摘された「事業の棲み分け」「定着率重視への転換」「所得モニタリング」「優良事例の横展開」については一定の改善が認められ、事業利用者の就農定着率100%という成果も確認できる。
・一方で、新規就農者数は依然として目標未達であり、利用者数は低下傾向にある。また、所得モニタリングの結果が成果指標として活用されておらず、事業効果の検証に課題が残る。
・今後は、所得や経営安定度を含めた中長期的な成果指標の設定、利用者減少要因の分析及び予算の適正化を進めることで、より実効性の高い担い手確保策へ発展させることも重要である。
・就農者の中長期的な定着率の向上のためにも、就農者の所得や経営安定度の向上は欠かせない。そのための重要な手段の一つとして想定されるのは、可能な範囲でのスケールメリットの追求である。今後、本事業において中長期的な成果指標を設定する際には、例えば地域内の他の農業従事者との協働や耕作放棄地の活用など、就農先地域の農業の可能な範囲での集約化を目指していく上で必要な仕組み作りやそれに対する支援のあり方についても合わせて検討していくことが求められる（もしもそのための既存事業が他にある場合には、当該事業との有機的な接続のあり方にも留意していく必要がある）。